

第22回 メッキ版メカゴジラ(バンダイ)の巻



昨年末にもゴジラ映画にメカゴジラ(表記は「機龍」となっています)が登場した様ですが、我々世代のメカゴジラはやはりブラックホール第三惑星産のこいつ(及び改修後のMGII)でしょう。偽ゴジラのガワがめらめらと燃え上がりその下から現れた銀色の雄姿は今なお忘れられません(余談ですが、以前の職場で「空き缶オブジェを作ろう」と云う話が出た際、私は「スーパードライの空き缶でメカゴジラを作ってゴジラのガワを張り子して公開日にガワだけ燃やそう」と提案したのですが、私よりやや年長の担当者に却下されてしまいました...)。今回紹介するキットはバンダイ「The特撮Collection」第二期にラインナップされたメカゴジラに1990年代になって艶消しメッキを施したものです。

「The特撮Collection」は1983年頃の「ゴジラ復活フェスティバル」(当サイトでも何度か取り上げております)の盛り上がりに対応して開始されました。開発時期は大きく三期に分けられる様で、第一期はウルトラマン・モスゴジ等リクエストの多かったメジャーアイテム、第二期は多少マニアックなラインナップでマニア層を喜ばせ、第三期は速水氏等に原型を発注したゼットン・初代ゴジラ等で金型成型の限界と云える生物感を表現しています。



このキット、メッキ以外のキットの構成は初版と変わり有りません(箱にはメッキ版であることを示すステッカーが貼付)。ガンブラで培ったノウハウの投入により一部関節がデザインを崩さず可動する様になっています。価格は通常版の700円から500円アップしました。メッキのキットの中には必然性の無いものも有りますが、このキットに関しては「有り」だと思います。左は同梱されているポスター(上の写真で頭部だけ見えています)の裏面です。メカゴジラと改修型のメカゴジラIIの貴重なスチールがてんこ盛です。ところでこのキットのオマケ(このシリーズはオマケのマニアックさに定評有り)はメカゴジラII制御担当サイボーグ少女・桂なのですが、本体は初代メカゴジラ...もしや、このポスターを見て改造せよ、ということか？

キットデータ

| | |
|------|-----------|
| メーカー | バンダイ |
| スケール | 1/350 |
| 当時価格 | 1200円(税抜) |